

未来を見据えたまちづくり

次期総合計画がスタート

平成28年度を初年度とする次期総合計画は、本市の総合的な振興や発展などを目的にしており、わたしの市政運営の基本である「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」を将来都市像に掲げております。

特に、これからのまちづくりの基本姿勢としては、次世代に誇れるまちづくりを理念に「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」「医療・福祉の充実したまちづくり」「空港と共に発展するまちづくり」の3本柱を掲げ、未来を見据えた施策を実施してまいります。

若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり

少子高齢化が進行し、働き手である生産年齢人口が減少することは、まちの活力を失わせ、地域社会に深刻な影響を与えます。これからは、次代を担う若者や子育て世代にとって魅力的なまちづくりを進めていくことが大切です。

国の人口ビジョンでは、2060年に1億人程度の人口を確保することとした人口減少問題の克服を最優先事項として掲げており、

幸せを運ぶ申年にあやかり、市民の皆様にとって良き一年となることを願っております。

わたしは市政を預かる身として、市のさらなる発展と市民の皆様の幸せのため、全力で市政運営に取り組んでおります。

公約に掲げていた大学の誘致については、公津の杜駅前国際医療福祉大学がことし4月に開学し、新たな歴史の一步を踏み出します。

若者が集うことでまちが活性化するとともに、看護師や理学療法士などリハビリテーション専門職の人材創出により、地域医療福祉体制の充実が図られることが期待されます。

ことしも、市民一人一人が成田の輝かしい未来を感じられるよう、主要事業や山積する諸課題に真正面から挑み、さらなる飛躍を図ってまいります。



成田市長
小泉一成

あけましておめでとうございます

市民の皆様には、平成28年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

ことしは申年です。昔、干支は農作物を育てる暦として利用されており、9番目の申は草木が成長する時期に当たるため、「伸びず」という意味があります。

また、申は「去る」を意味し、悪いことや病が去り、そして良いことがやってくるとする説もあります。

さらなる機能強化が期待される成田空港

国全体において少子化対策に取り
組む機運が高まっています。

本市の現在の合計特殊出生率は
1・42であり、市民アンケート結
果から算出された希望出生率は
1・62となっています。

この希望出生率を実現するには、
子どもを産み、育てたいと思う市
民の希望が実現できるよう、可能
な限りニーズに合った子育て支援
策を実施し、出産・子育てをしや
すくなる環境をより整えていく必
要があります。

このような中、昨年、アベノミ
クス第3の矢である国家戦略特区
における規制緩和として、「地域
限定保育士」となるための制度が
創設され、試験が実施されました。
本市におきましても、保育士の
確保が困難な状況であり、地域限
定保育士制度の活用によって、市



親子で自由に遊ぶ「なかよしひろば」

内で働く保育士が増え、保育士不
足の解消と待機児童の減少に寄与
するものと確信しております。

本市は、これまでの児童ホーム
や公立保育園の整備に加え、認定
こども園の新設を促進するととも
に、民間による保育園の創設、小
規模保育事業所などへの補助を行
うなど、子育てしやすい環境の整
備に取り組んでおります。

2月には、公津の杜小学校に児
童ホームを増設し、4月には三里
塚小学校と吾妻小学校にも児童
ホームを増設いたします。

また、3月には、子育て家庭が
手軽に情報を取得することが可能
な子育て応援サイトを開設し、子
育てに関する行政情報や地域情報
子育て支援団体に関する情報など
を提供してまいります。今後も安
心して子どもを産み、育てること
ができる環境の充実に努めます。

医療・福祉の充実した まちづくり

誰もが住み慣れた地域で、必要
な医療・保健・福祉のサービスを
総合的・体系的に利用でき、安心
して暮らせる環境整備が求められ
ています。

高齢社会を迎え、高齢者の生き
がいづくりや介護サービスの充実、

地域包括ケアシステムの構築や障
がい者の地域生活に対する支援な
ど、きめ細かな福祉サービスの提
供に努めてまいります。

また、生活困窮者に対する自立
のための相談支援や住宅確保給付
金の支給など、共に支え合う社会
の実現を目指します。

交通弱者対策として、市内全域
における「オンデマンド交通」実
証実験の継続のほか、障がい者雇
用の促進についても積極的に取り
組んでまいります。

医療分野では、国家戦略特区に
おける規制緩和として、昭和54年
以来となる「医学部新設」が国か
ら認められました。このことは附
属病院の設置と併せて、医師不足
の解消や地域医療体制の充実が期
待できることはもちろん、若者の
流入と人口増加、雇用拡大にも結
び付きます。さらには、医療関連
産業の集積が期待でき、これから
の本市の発展にさまざまな効果を
もたらすことが予想されます。

今後は、平成29年4月の医学部
開学を目指し、スピード感を持っ
て進めてまいります。

空港と共に発展する まちづくり

東京オリンピック・パラリン

ピックの開催を契機に、訪日外国
人旅行者のさらなる増加が見込ま
れています。また、アジア諸国と
の空港間競争も激化しており、こ
うした中、国は第3滑走路の整備
をはじめとする成田空港の機能強
化が必要として、千葉県および空
港周辺市町に全面的な協力を求め
る考えを示し、昨年9月と11月に
成田空港に関する四者協議会が開
かれました。

成田空港の機能強化は、国際競争
力の強化や空港利用者の利便性
向上につながります。また本市は
もとより、空港周辺地域の活性化
と雇用の拡大などにもつながり、
このことが最大の地方創生である
と考えます。

ただその一方では、騒音地域の
拡大や発着回数の増加に伴う騒音
の増加、航空機からの落下物など、
生活環境への影響も懸念されるこ
とから、騒音地域に住む方々の理
解が得られるよう、さらなる騒音
対策や地域振興に、国や県、空港
会社と共に取り組んでまいります。

本市が今後とも持続的な発展を
遂げるには、成田空港の機能を最
大限に生かし、産業の振興と人・
物の交流によるまちの活性化を推
進していくことが重要です。

成田空港におけるトランジット



成田観光館で琴を体験する外国人旅行者

旅客を含めた訪日外国人旅行者の
来訪促進など、空港が立地してい
ることを生かした観光産業の振興
に取り組みます。

さらには、成田空港からの農水
産物の輸出拡大を図るため、成田
市場の農水産物輸出拠点化に向け
た取り組みを精力的に進めてまい
ります。

本市の発展にとりまして、成田
空港の機能強化は欠かせないもの
と認識しており、これからも空港
が立地していることの効果を最大
限に引き出し、市民の皆様が豊か
な暮らしの実現につなげていける
よう努めてまいります。

結びに、本年も、本市の発展と
市民ニーズを的確に捉えた施策に、
なお一層取り組んでまいります。
皆様の温かいご支援、ご協力をお
願い申し上げます。年頭のあい
さつといたします。